

原田病院外来診察担当表

(平成26年10月1日～)

●診察時間 午前9時～午後12時 午後4時～午後6時

☆当院では待ち時間短縮のため午前中の診察は予約制となっております☆

□ 一般内科外来 □ 糖尿病外来 □ 泌尿器科外来 □ 整形外科外来 □ 慢性腎臓病 (CKD) 外来 □ 在宅血液透析 (HHD) 外来

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
午 前	1診	重本	山下和臣	重本	西澤	山下和臣	重本
	2診	竹内	西澤	水入 (腎臓内科)	水入 (腎臓内科)	山下秀樹	山下和臣
	3診	山下秀樹	大下	永野	小野	大下	小田
	4診 DM	内藤	内藤	内藤	大下	永野	武本
	5診 整形外科	石田	石田	石田	黒田 (血液内科)	石田	佐々木 (内科)
	6診 初診	藤井	佐々木	小田	永野	小野	竹内
	7診	浅井	藤田 (泌尿器科)	若本	武本	藤田 (泌尿器科)	泌尿器科 (広大医師)
	放射線科	石根、樋口	石根	石根	石根、樋口	石根	樋口
午 後	1診	16:00～ 18:00 永野	16:00～ 18:00 佐々木	15:00～ 18:00 碓井	16:00～ 18:00 浅井	16:00～ 18:00 若本	16:00～ 18:00 藤野
	2診	専門外来 (14:30～16:30) (不定期) 呼吸器 濱田	専門外来 (14:30～16:00) (第1火曜日) 循環器 木原	16:00～ 17:00 藤野	専門外来 (14:00～16:00) PD 西澤	専門外来 (16:00～18:00) 呼吸器 濱田	専門外来 (16:00～18:00) DM 武本
	3診	16:00～ 17:00 小田	専門外来 (14:20～16:00) CKD 水入	専門外来 (16:30～18:00) HHD 西澤	専門外来 (14:00～16:00) CKD 水入	専門外来 (14:30～16:00) CKD 西澤	—
	4診	専門外来 (14:00～15:00) 禁煙外来 内藤	16:00～ 17:00 小野	16:00～ 18:00 佐々木	—	—	—
	5診	専門外来 (13:00～16:00) フットケア 武本	—	—	14:30～16:30 整形外科 石田	専門外来 (16:00～18:00) 循環器 竹内	—
	7診	—	—	—	専門外来 (14:00～15:00) 特定健診 武本	—	—

※手術・救急・学会などにより担当医が予告なく変更になることがあります。

一陽会

原 田 病 院 院長 重本 憲一郎

〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号
TEL 082-923-5161 FAX 082-921-8035

一 陽 会 ク リ ニ ッ ク 院長 碓井 公治

〒731-5133 広島市佐伯区旭園10番3号
TEL 082-924-0033 FAX 082-924-0037

イーストクリニック 院長 有田 美智子

〒732-0814 広島市南区段原南1丁目3番53号 イーストビル6F
TEL 082-506-0123 FAX 082-567-7115

横 川 ク リ ニ ッ ク 院長 藤田 潔

〒733-0011 広島市西区横川町2丁目7番19号 横川メディカルプラザ3F
TEL 082-231-0111 FAX 082-231-0155クローバー訪問看護ステーション
クローバー在宅介護支援事業所所長 大泉 淳
所長 平田 恵美〒731-5133 広島市佐伯区旭園5番58号
TEL 082-925-6222 (訪問看護) 082-925-6221 (在宅介護)
FAX 082-925-6223 (共通)ケアレジデンス楽々園
デイサービス楽々園
クローバーヘルパーステーション施設長 大倉戸美代子
所 長 西 幸子
所 長 甲斐 慎一郎〒731-5136 広島市佐伯区楽々園3丁目14番3号
TEL 082-943-8686 (ケアレジデンス楽々園)
082-943-8585 (デイサービス楽々園)
082-943-7088 (ヘルパーステーション) FAX 082-943-8588 (共通)

あさひメディコ

グ ラ ン ホ ー ム あ さ ひ
デ イ サ ー ビ ス あ さ ひ施設長 日高 直美
所 長 畑 千恵〒731-5133 広島市佐伯区旭園9番31号
TEL 082-943-7773 (グランホーム)
082-943-8610 (デイサービス) FAX 082-943-8600 (共通)

発行 一陽会広報委員会

〒731-5134 広島市佐伯区海老山町7番10号
TEL 082-923-5161 (代) FAX 082-921-8035
ホームページ http://www.icy.or.jp E-mail info@icy.or.jp (一陽会 広報室)
ご意見ご質問があれば上記の一陽会広報室までご一報ください。

周辺地図



あとがき

今年もインフルエンザの季節がやってきました。様々な薬が開発されてはいますが、世界では今でも毎年数万人の方が命を落としているそうです。◆インフルエンザは核となるタンパク質の違いからA型、B型、C型の3種類に分けられます。B型、C型は散発的な小流行はありますが、A型はほぼ毎年流行し、数十年ごとに新型による世界的大流行があります。新型が発生すると抗体がないためあつという間に大流行し、1918年のスペイン風邪の際には世界中で4～5千万人の死者が出ました。◆新型は鳥インフルエンザが元となって発生すると考えられていますが、鳥から直接人間には感染せず、豚の体内で人間への感染力が備わったものに変異して誕生すると考えられていました。近年、鳥から人間に直接感染する事例が数例報告されているそうです。鳥インフルエンザの人から人への感染事例はまだないそうですが、東京大学医科学研究所ではどのような変化が起これると人から人への感染力が備わるかが解明され、その変異によって誕生するウイルスはバイオテロに利用される危険性が危惧されるほどの強い毒性を持つそうです。◆予防のためには免疫力を高める事が大切です。十分な睡眠、適度な運動・栄養摂取など併せ、インフルエンザを発症しない体づくりを心掛けていきましょう。(N.U)



題名「世界遺産 富士山」

撮影：事務部 牛見好希

一陽会 基本理念

- 1 愛情ある奉仕の心を以って地域医療・介護に貢献する。
- 2 和衷協同して技術の向上と人格の形成に努める。
- 3 誠心と創意工夫を以ってその職責を全うする。

一陽会職員は、「愛・和・誠」を是訓として、日々の診療にあたっております。

患者さまの権利

- 1 患者は人としての尊厳を維持する権利を有します。
一陽会職員は患者のプライバシーの保護に努め、患者により選択された医療の提供を行います。
- 2 患者は納得できる医療を受ける権利を有します。
一陽会は患者に必要な情報提供と説明を行い、インフォームドコンセント(納得診療)を適切に行います。
- 3 患者は医療機関の選択の自由の権利を有します。
患者にはいかなる治療段階においても他の医師等の意見をもとめる権利(セカンドオピニオン等)があり、一陽会はこれを支援します。

原田病院 基本方針

- 1 地域ニーズに応える地域密着型の病院をめざす。
すなわち、高齢化が進む今日、高齢者の急性期医療を担うという当院の役割を明確にする。その為に、病診・病病連携を密にし、紹介患者の受け入れ、及び回復後の逆紹介を励行する。
- 2 医療、介護、福祉の関連機関と協力して、在宅医療を支援・推進する。
また医療の質を高めることにより早期社会復帰、平均在院日数の短縮をはかり、急性期型病院を維持する。
- 3 腎疾患、糖尿病、透析を中心とした急性期医療を提供する。
特に透析医療では、当地区において中心的役割を果たすよう努力する。
- 4 患者中心の医療を目指す。
すなわち患者の権利、尊厳、利益、希望を尊重した医療を実現するため、相談窓口、検討機関を広く設け、積極的に実施する。

介護システム更新

グランホームあさひ・デイサービスあさひ

この度、一陽会の関連施設グランホームあさひ・デイサービスあさひの介護サービス支援システムを最新の「ほのぼのNEXT」に更新しました。

システムリニューアルにより、これまで以上に利用者さまの健康状態に関する情報の共有と業務の迅速化が可能となりました。また、ケア情報の記録も、従来のワード・エクセルなどに記入する方法から、システム内のシートに直接記入する方法に切り替えたことにより、情報の統一化が図られ、また簡単に身体計測や経過記録の統計情報の出力も可能となりました。

これからも業務の効率化を図り、利用者さまに今よりもさらに安心した生活を送っていただけるよう、IT技術を活用してまいります。



介護サービス支援システム ほのぼのNEXT (NDソフトウェア)
導入業者 日本事務器(株)

ケアレジデンス楽々園 開設2年目に入りました

一陽会のサービス付き高齢者向け住宅「ケアレジデンス楽々園」、通所介護施設「デイサービス楽々園」、訪問介護事業所「クローバーヘルパーステーション」が開設2年目を迎えることができました。これも近隣および協力医療機関の先生方、関連事業所、地域の皆さまのご尽力のおかげと心より感謝いたしております。

おかげさまで医療施設との連携により訪問診療、介護、看護も定着しつつあり、入居者さまからは「ここでの生活を満喫しています」とのお声をいただいています。これからも医・憩・愉・食・新を充実させ入居者さまがこころ豊かに、ゆとりあるセカンドライフをお過ごしいただけるよう職員一同全力でサポートいたします。

今後ともご協力ご指導よろしくお願い致します。



屋上庭園では開放感あふれる空間のなかで緑と四季おりおりの花が心を癒してくれます。ぜひ施設見学がてらお立ち寄りください。

ケアレジデンス楽々園
施設長 大脊戸美代子

近隣医療機関のご紹介

湯来まつむらクリニック (佐伯区湯来町)

『医療と介護を一体的に提供します』。今回は、佐伯区湯来町、湯来まつむらクリニックのご紹介です。

当院は平成27年1月で開院9周年を迎えました。循環器科・内科・外科・消化器科・呼吸器科の診療をしていますが、高齢者が多い当クリニックにとりまして、いつも快く診ていただき、入院も引き受けてもらえる内科系病院の原田病院が当院の最も近くにあるので安心です。また、慢性腎臓病、糖尿病、内視鏡検査などの専門外来にも紹介させていただいており、大変心強くありがたく思っています。紹介させていただいた多くの患者さんからも、診ていただいて良かったと大好評で、嬉しい限りです。

当院は、介護老人保健施設と居宅介護支援事業所を併設しており、湯来町の高齢者に医療と介護を一体的に提供することも大きな役割です。

今後も10周年に向けて、患者さんにかかりつけ医として安心して受診していただき、信頼していただけるクリニックとなるよう、スタッフ一同毎日の診療に全力で取り組んで参ります。



湯来まつむらクリニック
理事長 松村 誠

- 所在地 〒738-0512 広島市佐伯区湯来町白砂590番地
TEL.0829-40-5603 FAX.0829-40-5222
- 診療科目 循環器科・内科・外科・消化器科・呼吸器科
- 診療時間 午前 8:30~13:00 (木曜日・土曜日は12:00)
- 休診日 月~土曜日の午後、日曜日、祝日
- 駐車場 10台



患者さまの視点を大切に

新たに3名の医師が「日本内科学会総合内科専門医」の資格を取得しました。



原田病院副院長 山下和臣
広島大学医学部(平成4年卒)
資格
・日本内科学会認定内科医・総合内科専門医
・日本腎臓学会専門医
・日本透析医学会専門医・指導医
・インфекションコントロールクター(ICD)



循環器内科科長 竹内智宏
久留米大学医学部(平成10年卒)
資格
・日本内科学会認定内科医・総合内科専門医
・日本循環器学会循環器専門医
・日本救急医学会救急科専門医
・プライマリ・ケア認定医・指導医
・ICD(植込み型除細動器)認定医
・CRT(心臓再同期療法)認定医
・日本医師会認定産業医



糖尿病内科医師 井上佳奈
川崎医科大学(平成13年卒)
資格
・日本内科学会認定内科医・総合内科専門医
・日本糖尿病学会専門医
・インフェクションコントロールドクター(ICD)

今回3名の医師が資格を取得したことにより原田病院では6名、一陽会全体では9名の総合内科専門医が所属することになりました。今後も専門性を活かしながら、患者さまの視点を大切に、患者さまやご家族のニーズにこたえ、他の医療機関からの信頼を得られるような診療を心掛けてまいります。



褥瘡対策について



原田病院 褥瘡対策委員会
皮膚・排泄ケア 認定看護師
鳴谷悦子

＝原田病院 褥瘡対策委員会＝

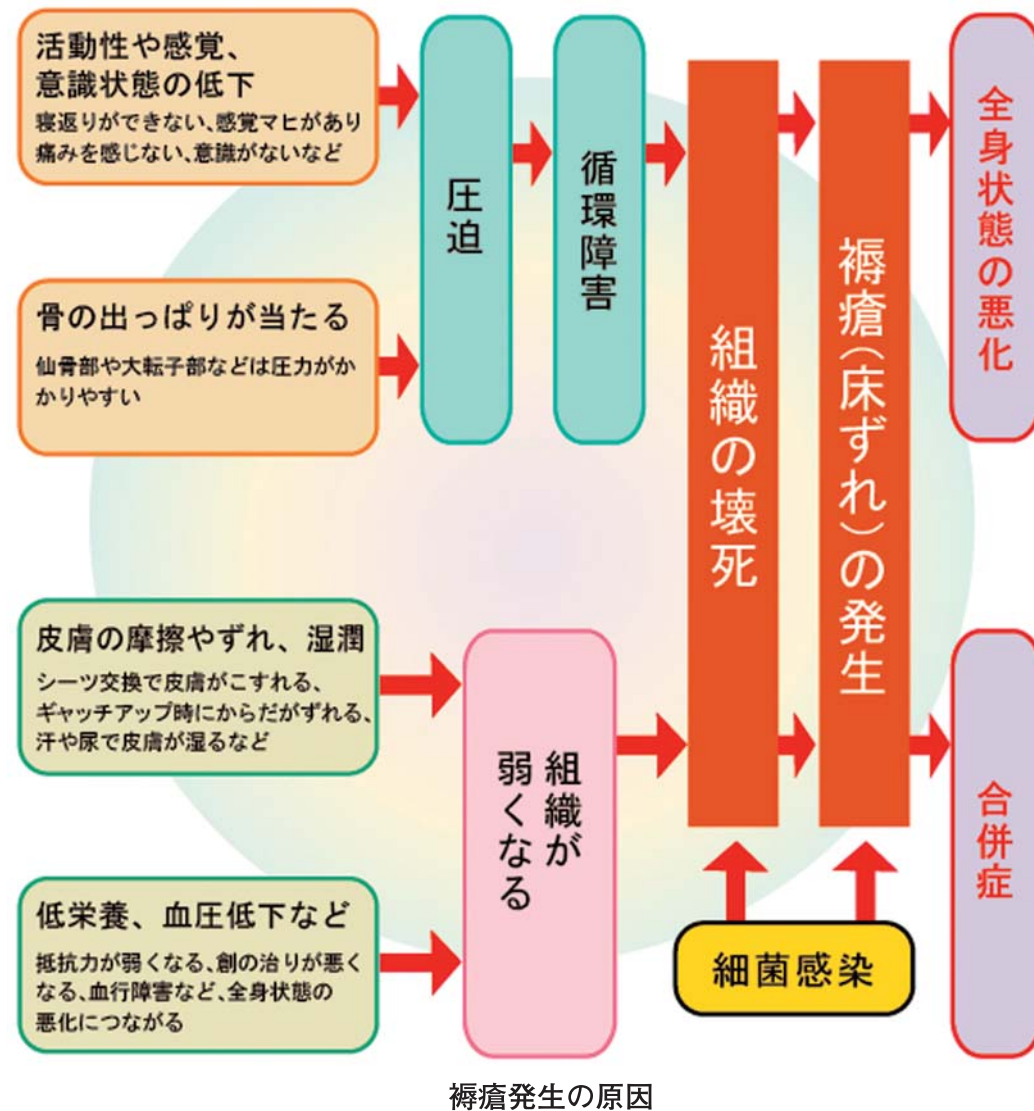
褥瘡とは？

褥瘡とは、日本褥瘡学会で『体に加わった外力が骨と皮膚表層間の軟部組織の血流を低下あるいは停止させ、この状況が一定期間持続され組織が不可逆的な阻血性障害に陥る事をいう。』と定義されています。簡単に言うと、何らかの原因で血流が低下、停止してしまうとそれから先の細胞に栄養や酸素が供給されなくなり、細胞が死んでしまったり損傷を受けてしまうという事です。しかし、最近では様々な原因

により必ずしも骨と皮膚表層との間の組織損傷とは限らなくなっています。

創傷と褥瘡の違い

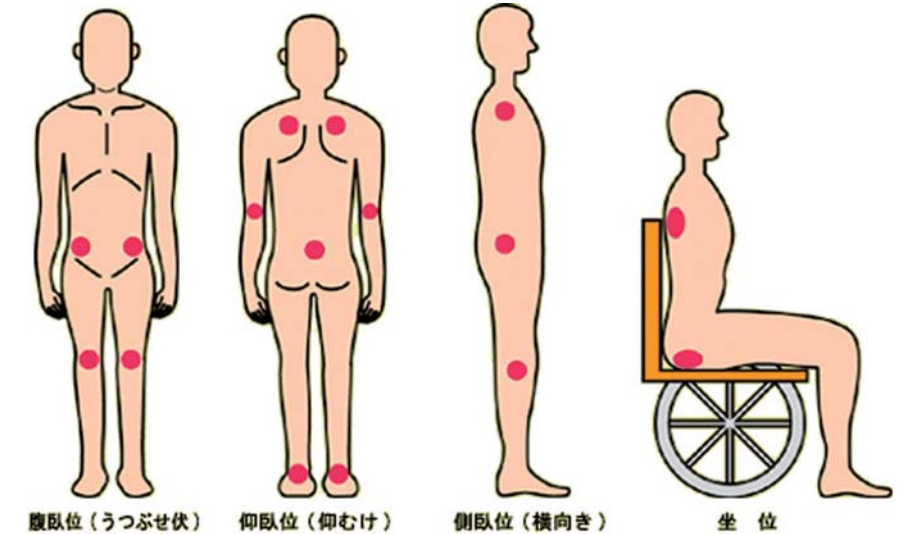
医療現場では、「切り傷やすり傷を創傷」「床ずれを褥瘡」と呼び区別をしています。創傷の「創」とは異なり褥瘡では「瘡」の字が使われていますが、この理由は「創」という字は切り傷やすり傷のような傷口



のことを言います。それに比べ『瘡』の字には栄養状態や加齢などの身体内部が要因になって皮膚細胞が死んでしまう壊死や痂皮（かさぶた）などのさまざまな原因が複雑に絡み合って発生する傷口の事を言います。

褥瘡発生の原因

危険因子としては、寝たきり、栄養失調状態、関節硬縮、皮膚湿潤、浮腫、基礎疾患などがあげられます。褥瘡発生の大きな原因としては圧迫、ずれ、まさつがあります。



褥瘡の好発部位

毎週褥瘡の治癒状態を評価していきます。この際褥瘡の写真撮影も行い写真と点数との両方で経過を評価していくことで誰でも変化がわかるようになっていきます。当院でも担当の医師が毎週褥瘡回診を行っており評価をして治療方針を検討しています。

褥瘡の予防、治療には栄養士、薬剤師、リハビリ科など医師、看護師以外の他職種の関わりが重要になってきます。その中でそれぞれの立場からの視点で患者さんの個別性に合わせて意見交換を行い最良の方法を考えています。

最後に私の好きな言葉で終わります。

『褥瘡は基礎知識と人間愛さえあれば防げるものである。』とあるように決して難しいものではありません。少しでも興味を持っていただけたら幸いです。

褥瘡予防

褥瘡を予防する為にはまず圧迫、ずれ、摩擦を最小限にすることです。これらが長時間続くと血流の低下の虚血状態に直接つながってきます。それをなくすためには身体に加わっている圧力を分散してあげる事が重要です。病院でも寝たきりの患者さま等には定期的に体位を変え身体に加わる圧力を分散しています。またマットレスを柔らかいものに変更してあげるのも一つです。

褥瘡の好発部位としては仙骨部、かかと、腸骨、大転子部など骨が出やすく圧がかかりやすい部分があげられます。

褥瘡治療

では褥瘡ができてしまったら？褥瘡は慢性創傷といい治癒までに長い時間を要します。一般的な創傷の治癒過程は『止血・凝固期』→『炎症期』→『増殖期』→『成熟期』という4つの過程を経過します。しかし褥瘡のような慢性創傷はこれら4つの過程のいずれかが障害され治癒が遅延してしまいます。そのため褥瘡治癒に対しては根気強くかわっていく必要があります。

また、褥瘡の治療にはDESIGN-Rという評価方法を使用していきます。これは深さ・浸出液の量・大きさ・炎症/感染・肉芽組織・壊死組織・ポケットの7項目をそれぞれ評価し治癒状況を点数化して評価していくものです。このDESIGN-Rを使用し



透析通信システム Vol.2（システム導入のメリット）

業務効率向上・医療事故防止について。

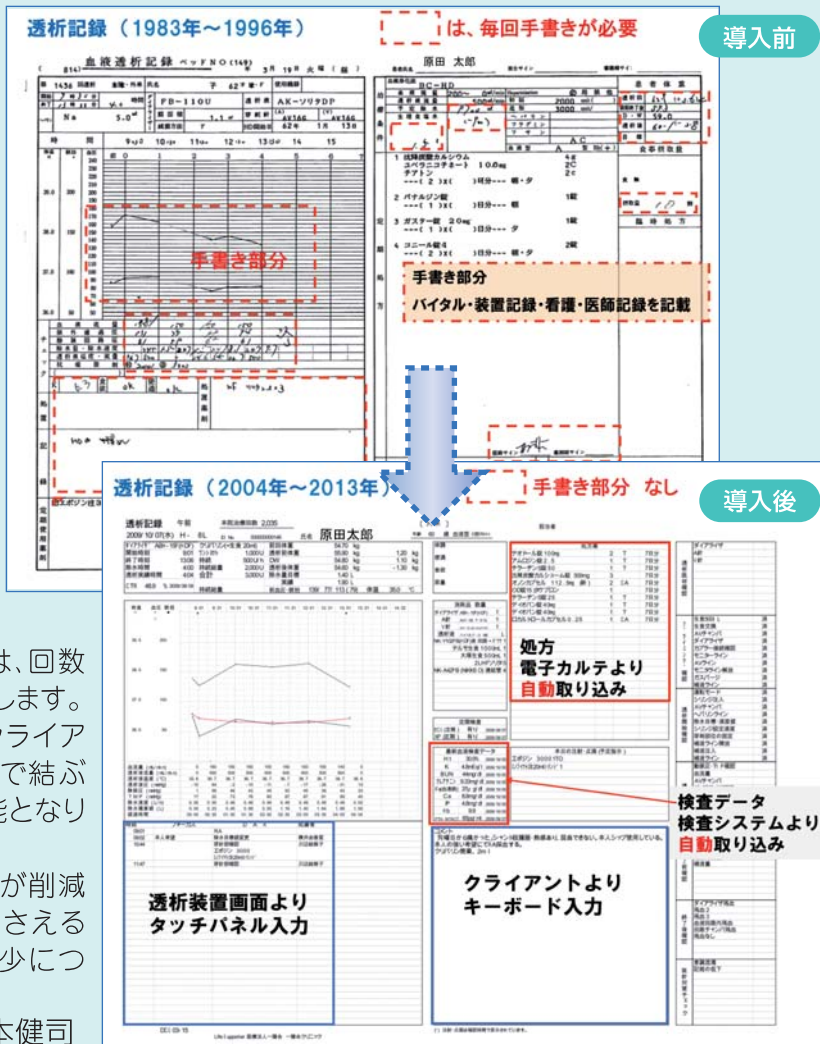
透析治療は、4～5時間を1回とし、定期的(週3～4回)に多人数の患者さまを同時に治療する形態が主流です。患者さま毎に血圧のデータ、機器データ、透析記録、血液検査データなどの情報を日々、管理する必要がありますが、1年経過すると膨大な情報量となります。

システムが導入される前は、これらの情報を管理するため、記録用紙に『転記』し保存する方法がとられていました。透析治療は、体に溜まった余分な水分を体から除去することが大きな目的の1つで、毎回治療前に患者さまの体重を測定します。測定値から、余分な水分量を計算し、透析装置に入力する作業が発生します。システムが導入される前は、患者さま毎にスタッフが『計算』し、『入力』していました。

人の手による紙への転記や、計算、入力は、回数が多くなるほど、ヒューマンエラーを引き起こします。透析通信システムは、体重計、透析装置、クライアントと呼ばれるコンピュータをネットワークで結ぶことにより、自動的に記載、計算、入力が可能となります。

システム導入により、転記ミスや入力ミスが削減でき、人の目による最終確認を最小減におさえることにより作業効率の向上・医療事故の減少につながりました。

透析情報科 主任 稲本健司



「法律に基づく新人看護職員研修の実施について」

一陽会では、法律に基づく新人看護職員研修を行っています。

「保健師助産師看護師法」「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の平成22年4月の改正から、新人看護職員の卒後臨床研修が努力義務となっています。一陽会の新人看護職員は厚生労働省が推奨する「新人看護職員研修ガイドライン」に沿った研修を受け、看護師としての資質や実践能力を向上させたうえで看護業務に当たっております。

また外部医療機関からの新人看護師受け入れ研修も行っておりますので、研修参加を希望される方は当院ホームページをご参照ください。

URL www.icy.or.jp/info/info17.html

今後も看護の質向上、医療安全の確保に努めてまいります。



コラム いきいきさん

第29回 横川クリニック 看護部主任 福馬美保



患者さま一人ひとりの声に耳を傾けるよう心掛けています。

平成13年に入職し、約10年透析治療に携わっています。生涯続けなければならない治療のため、患者さまが少しでも苦痛なく治療を受けられるよう笑顔で接し、一人ひとりの声に耳を傾けるよう心がけています。子育てをしながら働く中で、様々な困難を乗り越えられたのも家族をはじめ、職場の仲間や友人の助けがあったからだと感謝しています。

一陽会では毎年、職員旅行があります。数年前から毎年参加していますが、この時だけは育児と家事、仕事から解放されリフレッシュさせてもらっています。他部署の方と交流できる機会でもあり、毎年楽しみにしています。

この10年間で、透析新規導入の患者さまも高齢化してきており、抱える問題が変化してきています。日々自己啓発を心がけ、安心と安全の看護サービスが提供できるよう努力していきたいと思っています。



健康レシピ

ごぼうのペペロンチーノ

今回はごぼうのペペロンチーノの紹介です。ごぼうには食物繊維が豊富に含まれています。食物繊維には、便秘の解消、コレステロール低下作用や血糖値の急激な上昇を抑えてくれる効果があります。

1日の食物繊維摂取目標量は1日20～25g、良好な排便が期待できる量は1日20gと言われています。日本人の平均摂取量は14.2g/日(平成24年国民健康・栄養調査報告)と言われており、不足しがちな栄養素のひとつです。

ごぼうに食物繊維が豊富に含まれると言っても、今回紹介したごぼうパスタ1人前とれる食物繊維は4.4gです。さらに、写真に載っている春菊サラダをつけると合計5.9gの食物繊維がとれるようになります。

野菜ジュースで野菜をとることもできますが、野菜100%ジュース1本(200ml)飲んで摂れる食物繊維は2～4.2gだそうです。

野菜には、食物繊維の効果だけでなく、噛むことで満腹中枢を刺激し、食べ過ぎを防ぐことができます。やっぱり野菜は、ジュースよりも食べる方が良いでしょう。一日の野菜の摂取目標量は350g! 意識して、いろいろな野菜を食べましょう。

管理栄養士 室岡みほ

《材料(1人前)》

スパゲティ 60g
合いびきミンチ 30g
ごぼう 30g
白ネギ 40g
にんにく 3g
唐辛子 適量
油 4g
塩 1.4g
しょうゆ 3g
コンソメ 0.5g

《作り方》

1. にんにくは縦に薄切り、赤唐辛子は種を抜いて輪切りにする。
2. ごぼうはささがきにして、水にさらした後、水揚げしておく。白ネギは斜めに薄切りにする。
3. 鍋に湯を沸かし、スパゲティをゆでる
4. フライパンに油を弱火で熱し、1. を入れて香りがでるまでじっくり炒める
5. ミンチを入れ、火が通ったら、ごぼう、白ネギの順で炒め、塩を加える
6. ゆでたスパゲティ、コンソメ、しょうゆを加えてさっと炒める

